



2019年4月号



## 最近の県内経済は、一部に弱い動きがみられるが緩やかな回復を維持。

<p><b>個人消費</b></p>	<p><b>個人消費は、横ばいの動き。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2月の百貨店・スーパー販売額(速報ベース、店舗調整後)は前年同月比0.3%減と5カ月連続のマイナス。百貨店が同1.6%増、スーパーが同0.8%減となった。</li> <li>・2月の各種小売業態販売額は、コンビニエンスストア(全店ベース)が前年同月比4.6%増となった。その他の小売業態(全店ベース、増加率)は、家電大型専門店が同0.1%増、ドラッグストアが同7.7%増、ホームセンターが同0.1%増となった。</li> <li>・2月の乗用車販売台数は、前年同月比1.5%減の3,729台と2カ月連続の前年割れとなった。登録車では普通乗用車が同4.0%減と2カ月連続のマイナス、小型乗用車は同2.6%増と3カ月ぶりのプラスとなった。届出車の内、乗用車は同3.3%減と2カ月連続の前年割れとなった。</li> </ul>
<p><b>住宅投資</b></p>	<p><b>住宅投資は、増加。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2月の新設住宅着工戸数は、前年同月比84.8%増と2カ月連続のプラスとなった。持家が同17.4%増、貸家が同219.5%増、分譲住宅が同41.9%増となった。</li> </ul>
<p><b>公共投資</b></p>	<p><b>公共投資は、減少。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2月の公共工事請負額は、全体で前年同月比32.5%減の28億5,500万円となり、6カ月連続のマイナス。国(含む独立行政法人等)が同76.2%減、県が同63.1%減、市町村が同255.0%増となった。年度累計は前年度比8.5%減。</li> </ul>
<p><b>一次産業</b></p>	<p>〔農業〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農林水産省の発表によると、2018年県産米の相対取引価格(2019年2月)は、「つがるロマン」が前年同月比1.0%低下の1万5,208円、「まっしぐら」が同1.2%低下の1万4,951円となった。</li> <li>・2018年県産リンゴ販売は、2月の県外出荷量が前年同月比13.9%増、消費地市場価格が同10.3%低下し、県外市場販売額は同2.1%増となった。</li> </ul> <p>〔漁業〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比38.2%減、金額が同38.3%減となった。</li> </ul>
<p><b>生産活動</b></p>	<p><b>生産活動は、足元上昇。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1月の鉱工業生産指数(季節調整値)は、前月比5.4%上昇の109.3と3カ月ぶりに上昇した。輸送機械、生産用機械、金属製品などが上昇した。</li> <li>・原指数では、化学、電子部品・デバイス、パルプなどが低下したものの、鉄鋼、輸送機械、食料品などが上昇し、前年同月比3.2%上昇の102.1と6カ月ぶりに前年同月を上回った。</li> </ul>
<p><b>設備投資</b></p>	<p><b>設備投資は、増加基調継続。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2月の建築物着工床面積(民間非居住用)は、前年同月比306.2%増の3万864㎡と、9カ月連続で前年同月を上回った。</li> </ul>
<p><b>雇用動向</b></p>	<p><b>雇用動向は、改善している。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2月の有効求人倍率は、1963年の集計開始以来最高だった前月の1.35倍を0.06ポイント下回り、1.29倍となったものの高水準が継続。</li> </ul>

# 一次産業

## 米

「つがるロマン」、「まっしぐら」ともに前年比低下

農林水産省が発表した「2018年産米の相対取引価格・数量(2019年2月)(速報)」によると、県産米の相対取引価格(玄米60kg当たり税込み価格)は、「つがるロマン」が前年同月比1.0%低下の1万5,208円、「まっしぐら」は同1.2%低下の1万4,951円となった。

全銘柄平均価格は1万5,703円となり、前月比横ばい、前年同月比0.2%低下となった。価格が最も高かったのは、新潟「コシヒカリ(魚沼)」2万819円であった。前年同月比で見ると、上昇幅が大きかったのは、愛媛「コシヒカリ」(8.6%)、鹿児島「あきほなみ」(7.2%)、島根「きぬむすめ」(5.4%)などであった。

### ● 2018年産米(東北・北海道主要銘柄)の相対取引価格の推移

(単位: 円/玄米60kg税込、%)

産地	品種	18年9月	18年10月	18年11月	18年12月	2019年1月	19年2月	前月比	18年2月	前年同月比
青森	つがるロマン	14,898	14,910	15,135	15,221	14,994	15,208	1.4	15,356	-1.0
	まっしぐら	14,838	14,828	14,786	14,670	14,540	14,951	2.8	15,125	-1.2
岩手	ひとめぼれ	15,425	15,283	15,297	15,338	15,399	15,336	-0.4	15,193	0.9
宮城	ひとめぼれ	15,518	15,603	15,439	15,729	15,807	15,610	-1.2	16,011	-2.5
秋田	あきたこまち	15,727	15,797	15,830	15,760	15,745	15,746	0.0	15,946	-1.3
山形	つや姫	18,268	18,356	18,265	18,257	18,364	18,521	0.9	18,287	1.3
北海道	ななつぼし	15,740	16,003	16,035	16,103	15,925	15,749	-1.1	16,305	-3.4
北海道	ゆめびりか	16,907	16,976	17,110	16,213	16,348	15,931	-2.6	17,363	-8.2
全銘柄平均価格		15,763	15,707	15,711	15,696	15,709	15,703	0.0	15,729	-0.2

資料出所: 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

(注)相対取引価格は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格(運賃、包装代、消費税相当額を含む)1等米の価格を加重平均。

## りんご

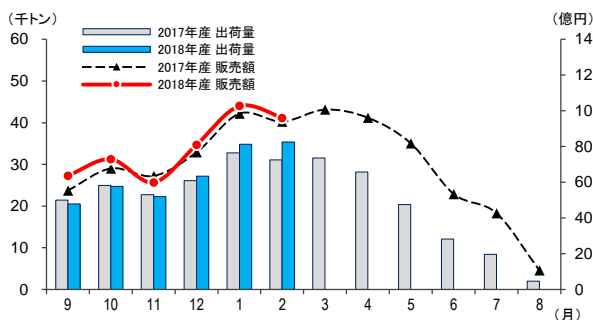
2018年産、県外市場販売額、前年比2.1%増

2018年県産りんご販売、2月の県外出荷量は前年同月比13.9%増の3万5,404トンとなった。これは平年の2月出荷量を7.0%上回る水準である。消費地市場価格は全種平均で、前年同月比10.3%低下、平年比較で6.4%低下の278円/kgとなった。この結果、県外市場販売額は前年同月比2.1%増、平年比較では0.2%低下の95億9,100万円となった。

2018年産県産りんごの消費地市場価格は、販売店による積極的な販促活動で荷動き自体は悪くないものの、キズ果等の割合が高かったことから前年及び平年を下回った。

(注)平年とは、月毎の過去5年間の中庸3カ年平均値である。

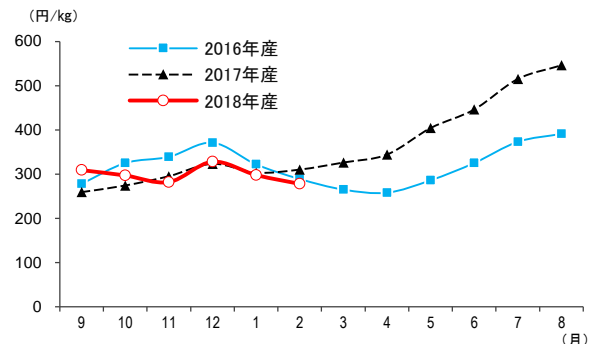
### ● リンゴ販売 県外市場販売動向



資料出所: 県りんご果樹課

(注)出荷量: 生食用(県外市場、輸出、小口他)  
販売額: 小口、加工向けを除く販売額

### ● 消費地市場価格の推移(全種平均)



資料出所: 県りんご果樹課

# 一次産業

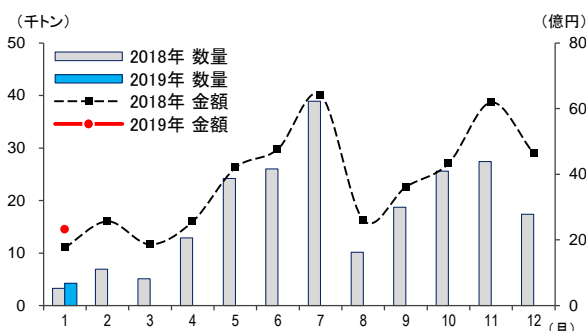
## 海面漁業

漁獲数量、金額ともに大幅プラス

1月の本県海面漁業は、漁獲数量が前年同月比28.2%増の4,232トン、漁獲金額は同31.4%増の23億1,834万円となった。前年同月に比べ、タラ及びホタテガイ（成貝）等の漁獲数量が増加し、マグロ及びホタテガイ（成貝）等の漁獲金額が増加したことなどが影響した。

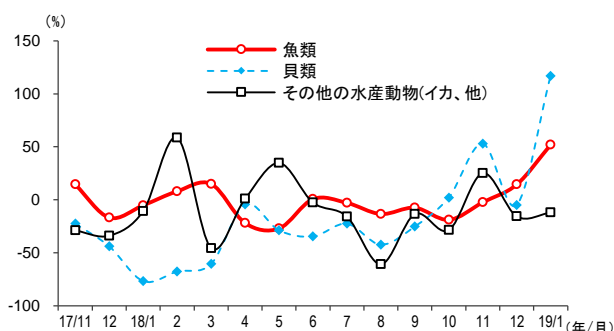
魚種別にみると、「魚類」は、マグロ、タラ等の水揚げが増加したことなどにより、数量が前年同月比9.9%増の2,125トン、金額は同51.9%増の13億2,959万円となった。「貝類」は、ホタテガイ（成貝、稚貝）等の水揚げが増加したことなどにより、数量が同124.2%増の1,342トン、金額は同116.7%増の3億4,916万円となった。「その他の水産動物」は、スルメイカ（近海・船凍）が好調だったものの、スルメイカ（近海・生）等が不調で、数量が同0.4%減の764トン、金額は同12.1%減の6億3,806万円となった。

### ● 海面漁業 漁獲数量と金額



資料出所：青森県農林水産部

### ● 魚種別漁獲金額(前年同月比増加率)



資料出所：青森県農林水産部

## 八戸港水揚げ

漁獲数量、金額ともに大幅マイナス

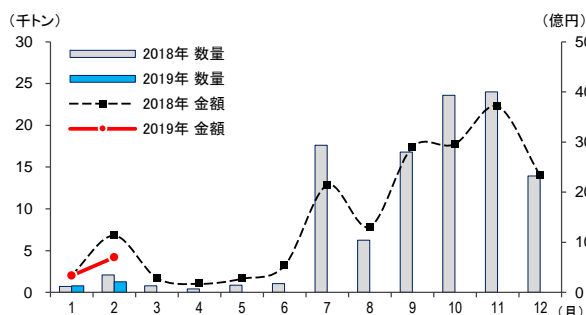
2月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比38.2%減の1,294トン、金額は同38.3%減の7億49万円となり、数量、金額ともに前年を大幅に下回った。

イカ釣り漁は、数量が船凍アカイカの不漁などから同53.2%減の691トン、金額は同46.2%減の4億7,674万円となった。

大中小型まき網漁は、休漁期間で前年同様水揚げがなかった。

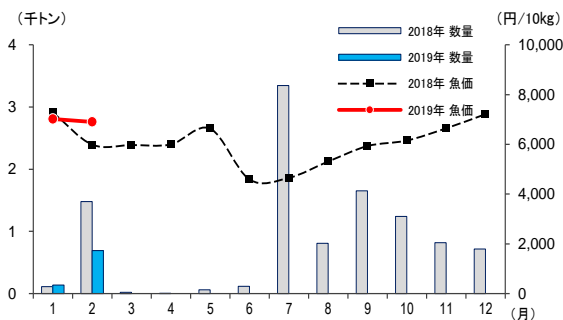
機船底引き網漁は、マダラが好調だったものの、スケソウダラが不調であり、数量が同0.4%減の444トン、金額は同8.4%減の1億6,121万円となった。

### ● 八戸港水揚げ高



資料出所：八戸市水産事務所

### ● イカの水揚げ数量と魚価



資料出所：八戸市水産事務所

# 二次産業

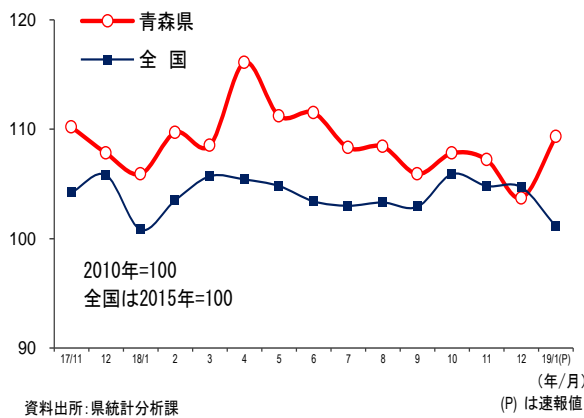
## 鉱工業生産

3カ月ぶりに上昇、輸送機械など上昇

1月の鉱工業生産指数(季節調整済速報値、2010年=100)は前月比5.4%上昇の109.3となり、3カ月ぶりに上昇した。輸送機械が前月比280.6%、生産用機械が同441.3%、金属製品が同32.2%などと上昇した。主要6業種では、電子部品・デバイスが同6.4%上昇した。これらの寄与により鉱工業生産指数は、青森県が全国を2カ月ぶりに上回った。

原指数で前年同月と比較すると、化学、パルプ・紙、電子部品・デバイスなどが低下したものの、電気機械、鉄鋼、輸送機械、食料品などが上昇し、前年同月比3.2%上昇の102.1と6カ月ぶりに前年同月を上回った。

### ● 鉱工業生産指数



### ● 業種別生産指数 (2019年1月)

業 種 ( )内は一万分比ウエート	季節調整済指数		原 指 数	
	2019年 =100	前月比 (%)	2019年 =100	前年同 月比 (%)
鉱 工 業 (10,000.0)	109.3	5.4	102.1	3.2
食 料 品 (2,410.0)	105.1	△ 3.6	95.5	7.9
鉄 鋼 (1,200.9)	113.3	△ 3.2	114.6	18.0
電子部品・デバイス (1,048.2)	155.5	6.4	140.7	△ 8.1
業務用機械 (1,005.1)	103.0	△ 14.5	104.5	1.8
パルプ・紙 (722.3)	76.8	△ 0.8	78.4	△ 18.1
電気機械 (429.2)	136.3	△ 6.4	113.2	33.8

資料出所: 県統計分析課

## 設備投資

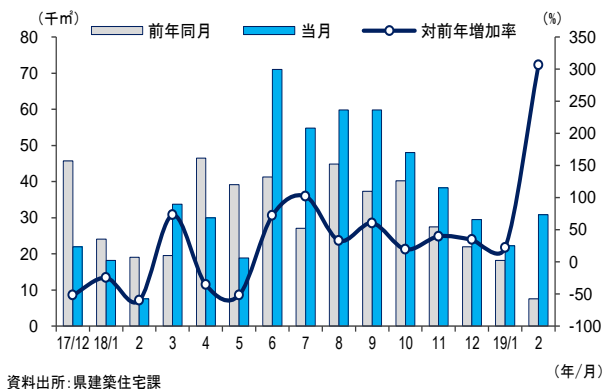
建築物着工床面積(民間非居住用)大幅増加、9カ月連続プラス

2月の建築物着工床面積(民間非居住用)は、前年同月比306.2%増の3万864㎡と大幅に増加し、9カ月連続で前年同月を上回った。

用途別着工床面積をみると、卸・小売業用が前年同月比457.9%増の1万9,059㎡、その他のサービス業用が同463.2%増の5,643㎡、他に分類されない建築物他が同7,883.3%増の2,395㎡、教育、学習支援業用が同54.4%増の2,355㎡、製造業、鉱業、建設業用が同501.1%増の1,058㎡などと増加した。

一方、医療、福祉用は同92.8%減の76㎡、農林水産業用は同56.6%減の116㎡と減少した。

### ● 建築物着工床面積(民間非居住用)



### ● 用途別着工床面積(民間非居住用)

用途別	2019年2月 (㎡)	2018年2月 (㎡)	前年同月比 (%)
農林水産業用	116	267	△ 56.6
製造業、鉱業、建設業用	1,058	176	501.1
卸・小売業用	19,059	3,416	457.9
運輸・通信業用	162	125	29.6
教育、学習支援業用	2,355	1,525	54.4
医療、福祉用	76	1,057	△ 92.8
その他のサービス業用	5,643	1,002	463.2
他に分類されない建築物他	2,395	30	7,883.3
合 計	30,864	7,598	306.2

資料出所: 県建築住宅課

# 二次産業

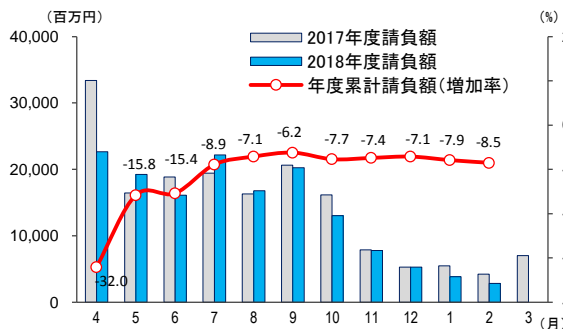
## 公共工事

市町村が増加するも、国・県が減少、6カ月連続のマイナス

2月の東日本建設業保証(株)の保証取扱いによる公共工事請負額は、前年同月比32.5%減の28億5,500万円となり、6カ月連続のマイナスとなった。

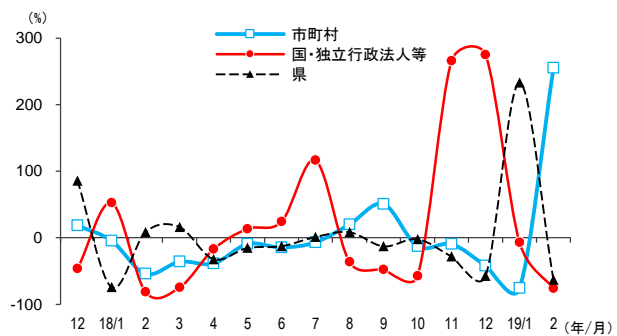
発注主体別の請負額は、国(含む独立行政法人等)は、防衛省や国土交通省などが減少し、同76.2%減の2億5,200万円となった。県は県土整備部などが減少し、同63.1%減の9億200万円となった。市町村は、弘前市や八戸市などで減少したものの、十和田市や外ヶ浜町などで増加し、同255.0%増の13億8,900万円となった。

### ● 公共工事請負額



資料出所: 東日本建設業保証(株)

### ● 発注主体別・月別請負額の推移(前年同月増加率)



資料出所: 東日本建設業保証(株)

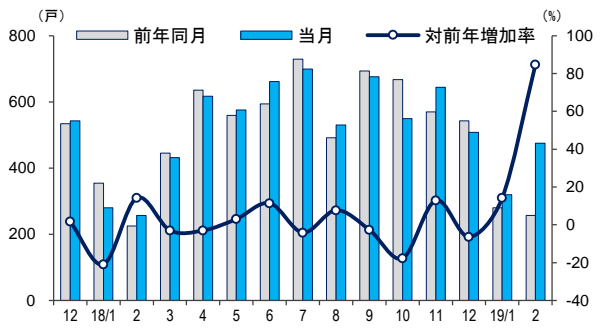
## 住宅着工

新設住宅着工戸数、2カ月連続プラス

2月の県内新設住宅着工戸数は、前年同月比84.8%増の475戸となり、2カ月連続プラスとなった。利用関係別では、持家が同17.4%増、貸家が同219.5%増、分譲住宅が同41.9%増となった。

地域別にみると、全体ではつがる市や十和田市などで減少したものの、六ヶ所村や青森市などで増加した。持家は、八戸市や七戸町が減少したものの、十和田市や青森市などで増加した。貸家は、つがる市や十和田市などで減少したものの、六ヶ所村や青森市などで増加した。分譲住宅は、青森市や十和田市などで減少したものの、弘前市やおいらせ町などで増加した。

### ● 新設住宅着工戸数



資料出所: 県建築住宅課

### ● 利用関係別戸数

	(単位: 戸, %)		
	2019年 2月	2018年 2月	前年 同月比
持家	169	144	17.4
貸家	262	82	219.5
給与住宅	0	0	-
分譲住宅	44	31	41.9
総戸数	475	257	84.8

資料出所: 県建築住宅課

# 三次産業

## 百貨店・スーパー販売

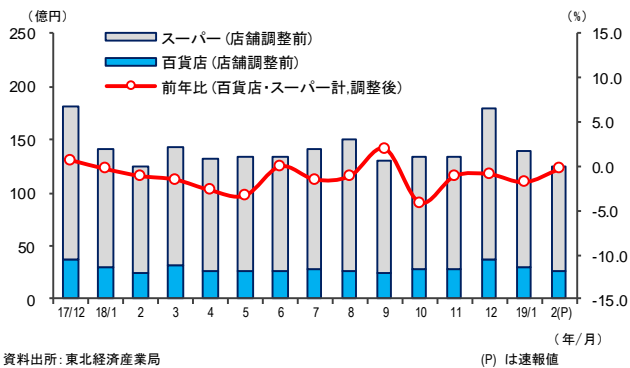
百貨店はプラスも、全体では不冴えな動きが継続

2月の県内百貨店・スーパー販売額(速報ベース、既存店)は、気温が高めに推移し春物衣料に動きがみられたものの、主力の飲食料品が伸び悩み、前年同月比0.3%減と5カ月連続の前年割れとなった。

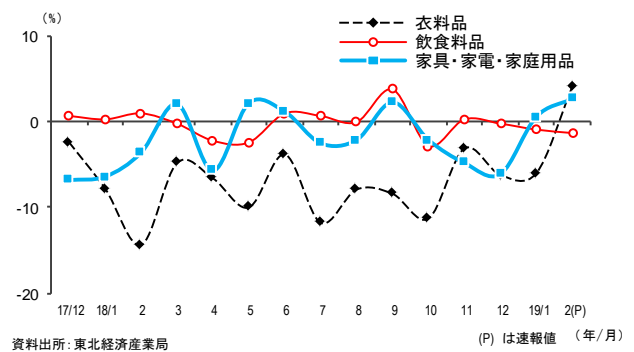
業態別では、百貨店が閉店セールが奏功し前年同月比1.6%増、スーパーが主力の飲食料品の不振などから同0.8%減と、明暗が分かれる動きとなった。

品目別では、最もボリュームの大きい飲食料品は百貨店が同2.1%減、スーパーが同1.2%減と落ち込み、全体では同1.3%減となった。また、衣料品は百貨店が閉店セールの影響から同3.8%増、スーパーが同4.6%増となり、全体では同4.1%増となった。また、家具・家電・家庭用品は、百貨店の閉店セールを受け家具、家庭用品を中心に動きがみられたことから同2.7%増となった。

### 百貨店・スーパー販売動向



### 品目別売上高(既存店、増加率)



## 各種小売業態販売額

全業態で前年比プラス

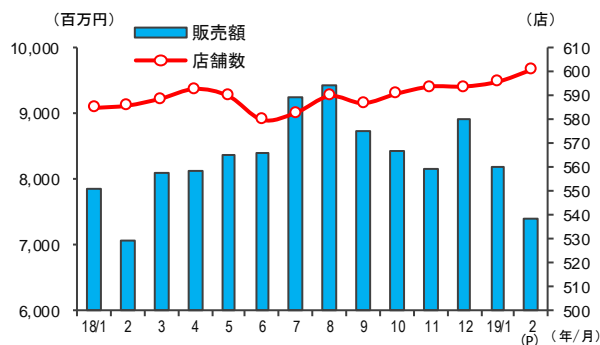
2月の各種小売業態販売額は、コンビニエンスストア、家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンターの全業態で前年比プラスとなった。

コンビニエンスストア販売額(全店ベース)は、前年同月比4.6%増の74億700万円と4カ月連続のプラスとなった。なお、店舗数は前月比5店増の601店となった。

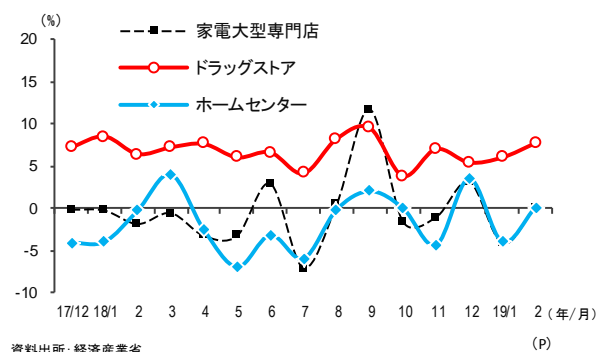
その他の小売業態販売動向(全店ベース、増加率)では、家電大型専門店が、パソコンや新型エアコンに動きがみられたことから前年同月比0.1%増とプラスに転じた。ホームセンターもペット用品を中心に伸ばし同0.1%増とプラスに転じた。また、好調が続くドラッグストアは医薬品やヘルスケア用品が引き続き好調だったほか、食料品需要を中心に他業態からの取込みが持続しており、同7.7%増と増加幅を広げ、プラス基調を維持している。

(注) 本項はすべて速報値である。

### コンビニエンスストアの販売動向と店舗数



### その他の小売業態販売動向(全店ベース、増加率)



# 三次産業

## 自動車販売

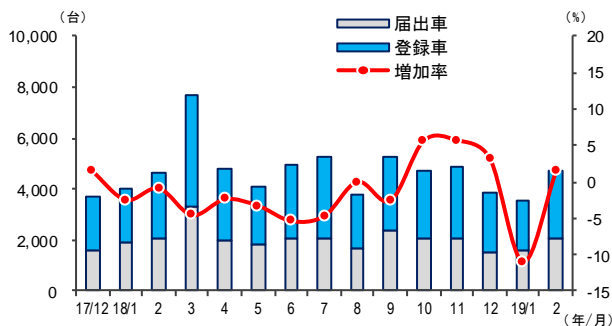
乗用車販売台数、2カ月連続の前年割れ

2月の自動車販売台数は、登録車が前年同月比1.1%増と2カ月ぶりのプラス、届出車(軽自動車)は同1.9%増と3カ月ぶりにプラスとなった。この結果、新車販売合計では、同1.4%増の4,694台と2カ月ぶりにプラスに転じた。

内訳別にみると、登録車は普通乗用車が前年同月比4.0%減と2カ月連続のマイナス、小型乗用車は同2.6%増と3カ月ぶりのプラスとなった。また、届出車の中の乗用車は同3.3%減と2カ月連続の前年割れとなった。この結果、乗用車の登録・届出車合計販売台数は同1.5%減の3,729台と2カ月連続の前年割れとなった。

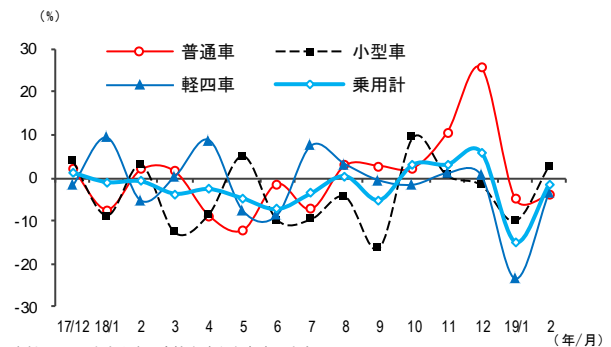
一方、登録貨物車は同5.7%増と4カ月連続のプラス、届出貨物車は同18.0%増と3カ月ぶりのプラスとなり、乗用車に比し好調な動きとなっている。

### 自動車販売動向



資料出所: 日本自動車販売協会連合会青森県支部

### 乗用車販売動向(増加率)



資料出所: 日本自動車販売協会連合会青森県支部

## 観光動向

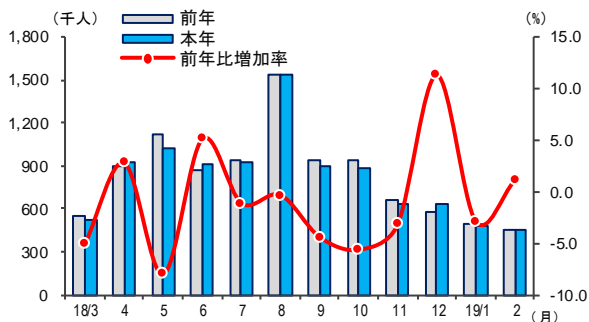
観光施設入込数、宿泊者数ともにプラス

2月の県内観光動向は、観光施設入込数、宿泊者数ともに前年比プラスとなった。

県内観光施設35カ所の入込数は、前年同月比1.1%増の45万7,901人と、2カ月ぶりにプラスに転じた。施設別では、アスパム(前年同月比7.7%増)、弘前市立観光館(同8.2%増)、八食センター(同4.4%増)など、集客ボリュームの大きい施設を中心に入込数を増やした。

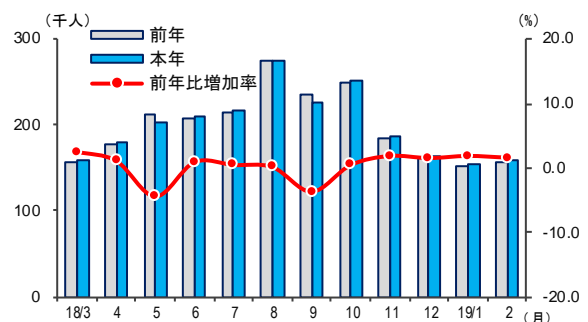
また、県内79施設の宿泊者数は、前年同月比1.6%増の15万8,426人と、5カ月連続でプラスとなった。地域別では、八戸市内(18施設)が同4.5%増の3万5,455人、下北地域(むつ市内を含む13施設)が同15.3%増の1万5,298人と9カ月連続でプラスを維持している。一方、青森市内(12施設)は同6.5%減の2万4,259人、弘前市内(17施設)は同0.2%減の3万4,254人と減少した。

### 県内35施設入込数(12月までは34施設)



資料出所: 県観光国際戦略局観光企画課

### 県内79施設宿泊者数



資料出所: 県観光国際戦略局観光企画課



# 物価・雇用・金融

## 消費者物価指数

前月比 0.1%下落、食料、灯油などが値下がり

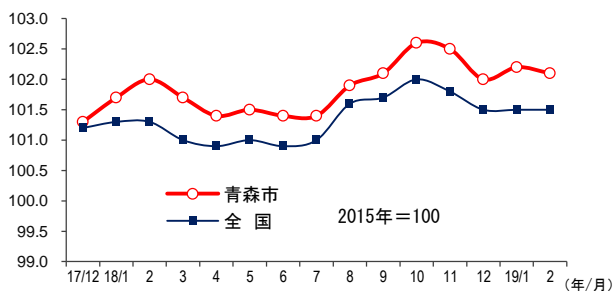
2月の青森市の消費者物価指数(2015年=100)は、前月比0.1%下落、前年同月比0.1%上昇の102.1となった。

主要費目別に前月と比べると、「食料」が、生鮮果物、油脂・調味料、魚介類などの値下がりにより0.3%低下、「光熱・水道」が灯油の値下がりにより0.5%低下した。一方、「被服及び履物」は洋服の値上がりにより0.8%上昇、「教養娯楽」は教養娯楽用品などの値上がりにより同じく0.8%上昇した。

前年同月比では、「光熱・水道」(2.7%)、「家具・家事用品」(1.5%)、「教養娯楽」(0.7%)などが上昇し、「食料」(△1.7%)、「交通・通信」(△0.2%)が下落した。

生鮮食品を除く総合指数は、前月比横ばい、前年同月比0.6%上昇の102.3となった。

### ● 消費者物価指数



資料出所：県統計分析課

### ● 費目別指数の動き(2019年2月)

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	102.1	△ 0.1	0.1
生鮮食品を除く総合指数	102.3	0.0	0.6
食料	104.3	△ 0.3	△ 1.7
住居	100.1	0.0	0.2
光熱・水道	104.0	△ 0.5	2.7
家具・家事用品	102.1	0.3	1.5
被服及び履物	100.8	0.8	1.6
保健医療	102.4	△ 0.2	0.6
交通・通信	98.8	△ 0.1	△ 0.2
教育	102.7	0.0	0.2
教養娯楽	102.3	0.8	0.7
諸雑費	103.4	0.1	1.6

資料出所：県統計分析課

## 雇用動向

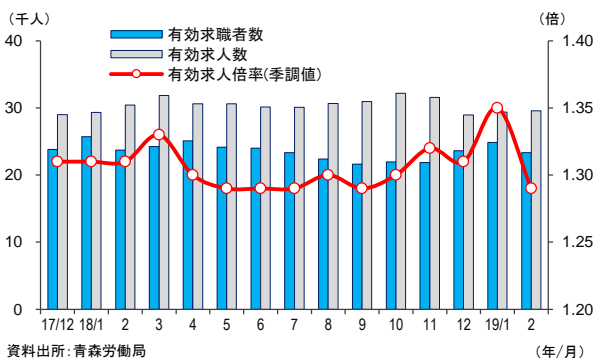
有効求人倍率 1.29 倍、前月を 0.06 ポイント下回る

2月の求人・求職動向は、有効求人数が前年同月比2.8%減の2万9,566人、有効求職者数は同1.7%減の2万3,332人となった。有効求人倍率(季節調整値)は1.29倍となり、前月を0.06ポイント下回ったものの、高水準は継続している。

新規求人の動きをみると、常用求人数が前年同月比2.6%減、臨時・季節求人数が同14.7%減、パート求人数が同8.9%減となり、全数では同5.8%減の1万982人となった。新規求人倍率(季節調整値)は1.78倍となり前月を0.21ポイント下回った。

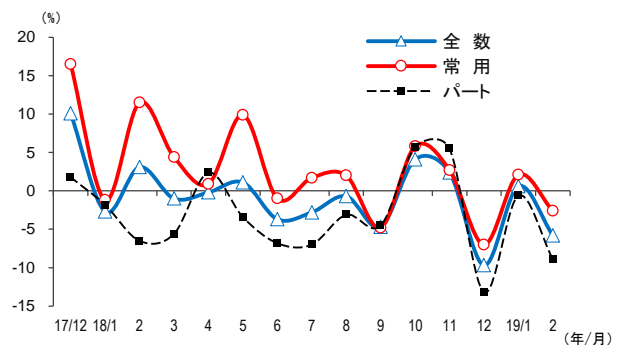
主要産業別の新規求人動向を前年同月比でみると、食料品、繊維、はん用・生産用機械など製造業の一部や小売業などで増加がみられたものの、情報通信業、運輸業、郵便業、宿泊業、飲食サービス業など、幅広い業種で減少した。

### ● 有効求人倍率



資料出所：青森労働局

### ● 新規求人数の増加率



資料出所：青森労働局

# 物価・雇用・金融

## 企業倒産

倒産件数、負債総額ともに2カ月連続で前月比増加

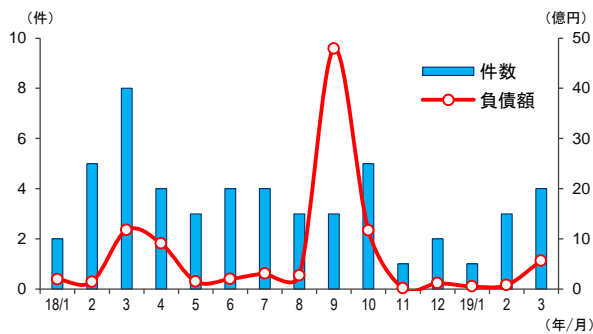
3月の県内企業倒産は、件数が4件、負債総額が5億6,500万円となり、前年同月比で件数が4件減、負債総額が6億1,100万円減となった。前月比では件数が1件増、負債総額が4億8,500万円増だった。

地区別では青森市で2件、弘前市、西津軽郡で各1件の発生となった。業種別では卸売業と小売業が各1件、サービス業他が2件となった。原因別では、販売不振が3件、その他が1件となった。倒産件数は2018年4月以降12カ月連続で5件以下にとどまっている。

なお3月の従業員被害者数は20人となり、1月からの累計では40人となった。

2018年度の企業倒産件数は、1972年の集計開始以来過去最少の37件、負債額は4番目に低い86億600万円となった。

### ● 企業倒産状況



資料出所: 東京商工リサーチ

(注) 負債総額1千万円以上

### ● 業種別・原因別件数 (2019年3月)

業種	件数	原因	件数
一次産業・鉱業		放漫経営	
建設業		過小資本	
製造業		他社倒産の余波	
卸売業	1	既往のシフト寄せ	
小売業	1	信用低下	
金融・保険業		販売不振	3
不動産業		売掛金回収難	
運輸業		在庫状況悪化	
情報通信業		設備投資過大	
サービス業 他	2	その他	1
合計	4	合計	4

資料出所: 東京商工リサーチ (負債総額1千万円以上)

## 金融動向

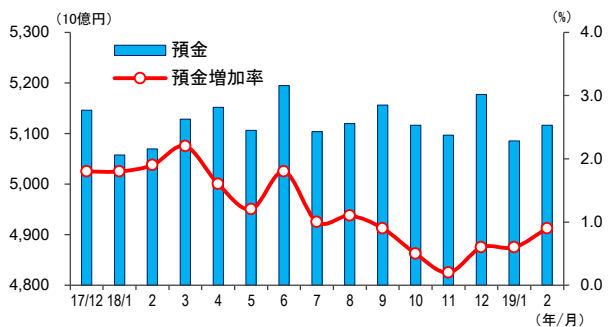
預金、貸出金とも70カ月連続のプラス

2月末の県内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の預金・貸出金残高は、実質預金が前年同月比0.9%増の5兆1,165億円、貸出金は同1.7%増の3兆820億円とそれぞれ増加した。

預金は、個人預金、法人預金の増加から前年を上回り、70カ月連続のプラスとなった。預金全体のプラス幅は前月比0.3ポイント増加した。

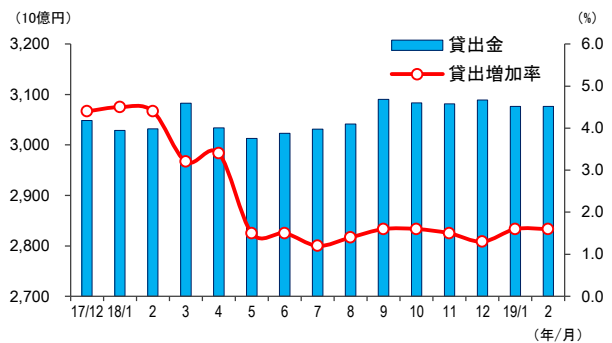
貸出金は、住宅ローン、法人向けの増加から前年を上回り、70カ月連続のプラスとなった。貸出金全体のプラス幅は前月比0.1ポイント増加した。

### ● 預金の推移



資料出所: 日本銀行青森支店

### ● 貸出金の推移



資料出所: 日本銀行青森支店

# 国内景気

## 概況

—国内景気は、このところ輸出や生産の一部に弱さもみられるが、緩やかに回復している—  
個人消費は、持ち直している。設備投資は増加している。住宅建設は概ね横ばいとなっている。公共投資は弱含んでいる。輸出はこのところ弱含んでいる。貿易・サービス収支の赤字は、このところ減少している。生産は一部に弱さがみられ、概ね横ばいとなっている。企業収益は高い水準にあるものの、改善に足踏みがみられる。企業の業況判断は概ね横ばいとなっている。消費者物価はこのところ横ばいとなっている。

## 百貨店・スーパーの動向(既存店ベース)

—前年同月比 1.8%減—  
2月の百貨店・スーパー販売額は1兆4,345億円(速報)となり、既存店ベースでは前年同月比 1.8%減となった。業態別にみると、百貨店が同 0.1%減、スーパーが同 2.7%減となった。商品別にみると、衣料品が同 1.4%減、飲食料品が同 2.4%減、その他商品が同 0.4%減となった。

## 住宅建設

—前年同月比 4.2%増、3カ月連続の増加—  
2月の新設住宅着工戸数は、前年同月比 4.2%増の7万1,966戸と、3カ月連続で増加した。利用関係別では、持家が同 9.9%増の2万1,992戸と5カ月連続の増加、貸家が同 5.1%減の2万7,921戸と6カ月連続の減少、分譲住宅が同 11.4%増の2万1,190戸と7カ月連続の増加となった。

## 企業倒産

—倒産件数、28年5カ月ぶりの600件割れ—  
2月の企業倒産は、件数が前年同月比 4.5%減の589件、負債総額は同 117.3%増の1,955億3,400万円となった。倒産件数は2月としては過去30年で2番目に少ない件数であった。月次倒産の600件割れは28年5カ月ぶり。負債総額は、負債1,000億円超の大型倒産が全体を押し上げ、2カ月連続で前年同月を上回った。

## 為替動向

—3月末終値 110円75銭—  
3月の東京外国為替市場は前月末から大幅続落、111円台後半でスタート。上旬は米景気の底堅さから米長期金利が上昇し、円売りドル買い。後、日経平均下落で円買い。中旬は、111円台前半から英国のEU離脱回避の可決などで円売りドル買い、小動き後、20日111円60銭。下旬はFRBの年内利上げ見送り方針、米長期金利の大幅低下などで円買いドル売り。月末終値は110円75銭。

## 鉱工業生産指数

—生産は足踏み、前月比 1.4%上昇の 102.5—  
2月の鉱工業生産指数は前月比 1.4%上昇の 102.5(速報、季節調整値)となった。原指数は前年同月比 1.0%低下の 100.1 となった。前月比では自動車、生産用機械、電気・情報通信機械などが上昇し、輸送機械(除、自動車)、無機・有機化学などは低下した。総じてみれば生産は足踏みをしている。3月は化学、鉄鋼・非鉄金属、はん用・業務用機械などの上昇により前月比 1.3%上昇を予測している。

## 新車販売(除く軽自動車)

—2カ月連続の増加、前年同月比 1.3%増—  
2月の国内新車販売は前年同月比 1.3%増の30万410台と2カ月連続で増加した。乗用車が同 0.5%増、貨物車が同 6.9%増となった。乗用車は普通乗用車が同 3.3%増と2カ月連続の増加、小型乗用車は同 2.9%減と3カ月連続の減少となった。

## 完全失業率

—完全失業者数、再び前年比減—  
2月の完全失業率(季節調整値)は、前月比 0.2ポイント低下の 2.3%となった。完全失業者数は前年同月比 10万人減の156万人となり、再び減少に転じた。求職理由別にみると、勤め先や事業の都合が前年同月比横ばいの20万人、自己都合が同 6万人減の66万人などとなった。

## 消費者物価指数

—前年同月比 0.2%上昇の 101.5—  
2月の消費者物価指数は総合指数が前年同月比 0.2%上昇、前月比(季節調整値)横ばいの 101.5 となった。前年同月に比べ、電気代、ガス代、外国パック旅行費などが上昇し、生鮮野菜、携帯電話通信料などは下落した。生鮮食品を除く総合指数は、前年同月比 0.7%上昇、前月比(季節調整値)0.1%上昇の 101.3 となった。

## 国際収支

—経常収支、前年同月比 25.3%増—  
2月の経常収支額は前年同月比 25.3%増の2兆6,768億円となった。貿易収支が黒字幅を拡大、第一次所得収支も黒字幅を拡大、第二次所得収支が赤字幅を縮小したこと等から、全体では黒字幅が拡大した。経常収支の内訳は、貿易・サービス収支が7,259億円の黒字、第一次所得収支が2兆145億円の黒字、第二次所得収支が635億円の赤字となった。

県内

**2/27 青天の霹靂、5年連続「特A」取得**

日本穀物検定協会による2018年産米の食味ランキングで、県産米「青天の霹靂」が参考品種だった14年産も含め5年連続で最高位の「特A」を取得した。その他、本県の主力品種「まっしぐら」は17年産の「A」評価から「Aダッシュ」に1ランクダウン、「つがるロマン」は15年連続で「特A」に次ぐ「A」評価を取得した。

**2018年産リンゴ輸出、5年連続100億円突破**

財務省の貿易統計によると、2018年産国産リンゴの累計輸出額(18年9月～19年1月)が106億728万円となり、5年連続で年間輸出額100億円を達成した。なお、国産リンゴ輸出量の9割が本県産とされている。

**3/1 2018年、本県への宿泊外国人過去最多**

観光庁によると、2018年の本県への外国人延べ宿泊者数(従業員10人以上の施設対象)は、28万9,750人となり、過去最多を記録した。

**3/5 高校生への県内事業所の求人倍率3.03倍**

青森労働局によると、高校生に対する県内事業所の求人倍率(1月末時点)は前年同月比0.39ポイント増の3.03倍となり、統計が残る1994年3月以降で初の3倍超えとなった。

**3/16 北海道新幹線、東京—新函館北斗4時間切り**

JR北海道がダイヤ改正を実施し、青函トンネル内の最高速度を140km/時から160km/時に引き上げた。この結果、東京—新函館北斗間の4時間切り、新青森—新函館北斗間の1時間切りが実現した。

**3/19 弘前市、2017年農業産出額東北1位**

農林水産省が公表した2017年の市町村別農業産出額によると、弘前市が409億7,000万円と前年比25億円減となったものの、4年連続で東北1位となった。全国では、前年より3つ順位を下げ13位となった。

国内

**3/7 景気動向指数、3カ月連続の低下**

内閣府が発表した1月の景気動向指数(速報値、2015年=100)によると、景気の現状を示す一致指数が前月比2.7ポイント低下の97.9と、3カ月連続で低下した。

**3/8 街角景気、3カ月ぶり改善**

内閣府が発表した2月の景気ウォッチャー調査によると、足元の景況感を示す現状判断指数(季節調整済)は前月比1.9ポイント上昇の47.5となり、3カ月ぶりに改善した。ただ同指数は、14カ月連続で好不調の分かれ目となる50を下回っている。

**3/13 機械受注、3カ月連続の減少**

内閣府が発表した1月の機械受注統計によると、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の受注額(季節調整済)は、前月比5.4%減の8,223億円と3カ月連続で減少した。

**3/18 大卒内定率、過去最高の91.9%**

文部科学、厚生労働両省によると、2019年春卒業予定の大学生の就職内定率(2月1日時点)が前年同期比0.7ポイント上昇の91.9%となった。上昇は8年連続となり、統計が残る2000年以降で過去最高を記録した。

**3/19 訪日外国人客数5カ月連続の増加**

日本政府観光局が発表した2月の訪日外国人客数は、前年同月比3.8%増の260万4,300人となり、2月としては過去最高を記録した。

**3/20 3月の月例経済報告、表現下方修正**

政府が公表した3月の月例経済報告で、景気の全体像を示す総括判断を「このところ輸出や生産の一部に弱さもみられるが、緩やかに回復している」と、表現を下方修正した。

# 全国の主要経済指標

年次及び月	日銀券発行高 (平均残高) (億円)	国内銀行勘定(月末)		国内銀行 貸出約定 平均金利 (年利%)	景気動向 指数(一致) 2015年=100	国内企業 物価指数 2015年=100	消費者 物価指数 2015年=100	鉱工業 生産指数 2015年=100	機械受注 (季調済) (億円)	公共工事 請負額 (億円)
		実質預金 (10億円)	貸出残高 (10億円)							
2014 (H26)	930,818	660,844	461,147	1.180	-	102.4	99.2	101.2	96,920	165,257
2015 (H27)	984,300	679,106	475,937	1.110	-	100.0	100.0	100.0	100,891	149,257
2016 (H28)	1,024,612	734,342	491,573	0.998	-	96.5	99.9	100.0	102,600	154,200
2017 (H29)	1,067,165	763,244	505,238	0.946	-	98.7	100.4	103.1	101,431	157,209
2018 (H30)	1,103,625			0.901	-	101.3	101.3	104.1	105,091	144,020
2017 (H29) 12	1,042,023	763,244	505,238	0.946	105.2	100.0	101.2	105.8	8,188	13,140
2018 (H30) 1	1,044,482	763,495	504,223	0.943	102.1	100.3	101.3	100.8	8,678	8,167
2	1,033,046	765,194	503,840	0.940	102.9	100.3	101.3	103.5	8,887	11,322
3	1,037,590	778,344	509,158	0.932	102.8	100.2	101.0	105.7	8,587	20,591
4	1,039,157	785,533	508,285	0.929	104.3	100.6	100.9	105.4	9,171	8,381
5	1,040,264	783,957	506,612	0.927	103.5	101.1	101.0	104.8	9,063	8,924
6	1,037,681	781,870	510,149	0.921	103.0	101.3	100.9	103.4	8,348	12,565
7	1,044,800	773,451	509,569	0.918	102.1	101.8	101.0	103.0	9,128	12,098
8	1,046,482	772,577	508,515	0.917	102.7	101.8	101.6	103.3	9,754	12,715
9	1,045,699	776,734	512,171	0.912	101.1	102.0	101.7	102.9	8,100	15,216
10	1,047,072	774,577	509,514	0.912	103.7	102.4	102.0	105.9	8,720	13,066
11	1,050,606	779,129	511,618	0.909	101.9	102.1	101.8	104.8	8,714	10,238
12	1,077,249	779,084	515,480	0.901	100.6	101.5	101.5	104.7	8,692	10,737
2019 (H31) 1	1,079,375	776,081	512,080	0.900	98.1	100.9	101.5	101.1	8,223	10,843
2	1,066,271			0.898	P 98.8	P 101.1	101.5	102.5	8,367	10,291
前月比 %	-1.2	-0.4	-0.7	-0.002* イト	0.7ポイント	0.2	0.0	1.4	1.8	-5.1
前年同月比%	3.2	1.6	1.6	-0.042* イト	-	0.8	0.2	-1.0	-5.5	-9.1
資料出所	日本銀行			内閣府	日本銀行	総務省	経済産業省	内閣府	国土交通省	

※日銀券発行高の年次は年末残高の数値

※消費者物価指数の前月比は季節調整値による

※鉱工業生産指数の前年同月比及び年次は原指数による

※機械受注は、船舶・電力を除く民需、前年同月比は原系列による

年次及び月	新設住宅 着工戸数 (戸)	新車登録 届出台数 (乗用車) (千台)	百貨店・ スーパー 販売額 (億円)	企業倒産		完全 失業率 (季調済) (%)	国際収支 (経常) (億円)	東京 外為相場 (月中平均) (円/US\$)	日経 平均株価 (東証1部 225株 柄) (円)	日経 商品指数 (月末42種) 1970年=100
				件数 (件)	負債総額 (億円)					
2014 (H26)	892,261	4,699	201,973	9,731	18,741	3.6	39,215	105.79	17,450.77	183.036
2015 (H27)	909,299	4,216	200,491	8,812	21,124	3.4	165,194	121.09	19,033.71	160.852
2016 (H28)	967,237	4,146	195,979	8,446	20,061	3.1	213,910	108.77	19,114.37	168.833
2017 (H29)	964,641	4,386	196,025	8,405	31,676	2.8	226,067	112.13	22,764.94	184.488
2018 (H30)	942,370	4,391	195,998	8,235	14,855	2.4	192,222	110.40	20,014.77	180.684
2017 (H29) 12	76,751	330	20,921	696	3,976	2.7	7,709	112.97	22,764.94	184.488
2018 (H30) 1	66,358	340	16,826	635	1,046	2.4	6,106	110.77	23,098.29	185.463
2	69,071	402	14,565	617	900	2.5	21,365	107.82	22,068.24	186.434
3	69,616	563	16,381	789	1,327	2.5	31,858	106.00	21,454.30	184.314
4	84,226	305	15,565	650	955	2.5	18,865	107.43	22,467.87	186.501
5	79,539	308	15,664	767	1,044	2.2	18,951	109.69	22,201.82	186.685
6	81,275	375	16,030	690	2,195	2.4	12,115	110.03	22,304.51	185.395
7	82,615	369	17,002	702	1,127	2.5	20,269	111.37	22,553.72	184.270
8	81,860	302	15,751	694	1,213	2.4	18,237	111.06	22,865.15	183.405
9	81,903	404	15,135	621	1,842	2.3	18,437	111.89	24,120.04	184.781
10	83,330	347	15,862	730	1,176	2.4	13,163	112.78	21,920.46	184.792
11	84,213	357	16,437	718	1,213	2.5	8,211	113.37	22,351.06	182.523
12	78,364	320	20,825	622	818	2.4	4,644	112.45	20,014.77	180.684
2019 (H31) 1	67,087	342	16,322	666	1,684	2.5	P 6,004	108.95	20,773.49	180.567
2	71,966	401	P 14,345	589	1,955	P 2.3	P 26,768	110.36	21,385.16	183.091
前月比%	7.3	17.2	1.5	-11.6	16.1	-0.2* イト	-	1.3	2.9	1.4
前年同月比%	4.2	-0.1	-1.8	-4.5	117.3	-0.2* イト	25.3	2.4	-3.1	-1.8
資料出所	国土交通省	自販協連合会	経済産業省	東京商工リサーチ	総務省	財務省	日本銀行	日本経済新聞社		

※百貨店・スーパー販売額の前月比は季節調整済増減率、前年同月比は既存店ベース増減率

※企業倒産は負債額1千万円以上

※日経平均株価は年末、月末の終値ベース

# 青森県の主要経済指標・各種統計 1

年次及び月	人口 (推計)		銀行券 受払高 (支払-受入) (億円)	県内金融機関		鉱工業 生産指数 (季調済) 2010年=100	公共工事請負額		企業倒産 (負債額1,000万円以上)	
	(人)	社会動態(人) (転入-転出)		実質預金 (億円)	貸出残高 (億円)		(百万円)	うち県分 (百万円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)
2014 (H26)	1,321,895	-6,448	1,957	49,114	27,890	106.9	169,394	58,023	66	9,485
2015 (H27)	1,308,265	-6,278	2,749	49,540	28,849	107.8	151,727	58,460	52	6,894
2016 (H28)	1,293,681	-5,906	2,929	50,154	29,878	110.3	177,083	65,673	49	12,227
2017 (H29)	1,278,581	-5,722	3,073	51,283	30,828	110.3	177,167	71,311	44	8,926
2018 (H30)	1,262,815	-5,820	3,292			108.6			44	9,426
2017 (H29) 12	1,277,086	-136	713	51,459	30,486	107.8	5,301	1,783	8	472
2018 (H30) 1	1,276,119	-118	-120	50,573	30,290	105.9	5,471	399	2	195
2	1,274,939	-426	199	50,693	30,319	109.7	4,231	2,445	5	145
3	1,273,573	-5,681	236	51,283	30,828	108.5	7,041	4,305	8	1,176
4	1,266,889	637	365	51,515	30,338	116.1	22,681	13,280	4	905
5	1,266,707	-44	122	51,063	30,130	111.2	19,264	3,233	3	148
6	1,265,852	-164	327	51,947	30,232	111.5	16,142	6,696	4	201
7	1,264,951	-18	258	51,037	30,316	108.3	22,174	5,956	4	305
8	1,264,201	235	242	51,197	30,412	108.4	16,791	5,066	3	269
9	1,263,717	-193	198	51,565	30,906	105.9	20,239	10,662	3	4,788
10	1,262,815	113	381	51,165	30,833	107.8	13,024	4,722	5	1,167
11	1,262,049	-36	294	50,968	30,814	107.2	7,807	2,557	1	13
12	1,261,169	-147	701	51,768	30,892	103.7	5,293	754	2	114
2019 (H31) 1	1,260,124	-111	-110	50,854	30,765	P 109.3	3,864	1,329	1	51
2	1,258,753	-586	239	51,165	30,820		2,855	902	3	80
3	1,257,081		275						4	565
前月比 %	-0.1	-	-	0.6	0.2	5.4	-26.1	-32.1	33.3	606.3
前年同月比%	-1.3	-	-	0.9	1.7	3.2	-32.5	-63.1	-50.0	-52.0
資料出所	県統計分析課		日本銀行青森支店		県統計分析課	東日本建設業保証	東京商工リサーチ			

※人口の年は10月1日、月は各1日現在の数値、社会動態の年次は前年10月から当年9月まで、月は月中の計数

※日銀券の年次計数は年度累計

※実質預金は手形・小切手を除く、預貸金の年次計数は年度末残高

※鉱工業生産指数の年次および前年同月比は原指数による

※公共工事請負額の年次の欄は年度計数

年次及び月	新車登録 台数(台)	乗用車 登録届出 台数(台)	新設住宅着工戸数			新設住宅 床面積 (㎡)	消費者 物価指数 2015年=100 (青森市)	勤労者世帯 家計消費 支出額(円) (青森市)	毎月勤労統計調査	
			総戸数 (戸)	うち持家 (戸)	うち貸家 (戸)				現金給与 総額(円)	総実労働 時間(時間)
2014 (H26)	31,736	52,046	5,469	3,387	1,721	575,085	99.8	259,815	254,237	155.1
2015 (H27)	30,680	44,577	5,686	3,336	1,820	585,836	100.0	255,240	251,066	154.6
2016 (H28)	31,217	43,396	6,494	3,597	2,256	650,614	99.5	265,004	252,236	152.5
2017 (H29)	33,776	46,625	6,509	3,703	2,234	651,725	100.5	269,221	262,558	155.5
2018 (H30)	32,856	45,769	6,431	3,813	1,901	655,052	101.9	274,905		
2017 (H29) 12	2,130	2,805	543	280	196	51,843	101.3	322,705	443,773	159.0
2018 (H30) 1	2,062	3,260	280	153	100	27,137	101.7	251,867	227,568	144.9
2	2,602	3,787	257	144	82	25,098	102.0	234,628	219,193	150.8
3	4,329	6,098	432	237	106	44,337	101.7	260,689	226,566	152.9
4	2,782	3,855	617	450	107	70,734	101.4	311,470	219,702	155.3
5	2,253	3,228	576	362	149	59,074	101.5	242,376	224,782	151.5
6	2,906	3,941	662	408	180	69,475	101.4	297,775	333,277	159.1
7	3,186	4,249	699	356	233	68,023	101.4	296,007	273,443	157.6
8	2,106	2,931	530	347	164	54,516	101.9	285,168	242,868	152.6
9	2,897	4,128	676	386	240	66,814	102.1	271,568	228,024	153.1
10	2,666	3,684	550	340	153	56,817	102.6	254,477	224,763	158.1
11	2,746	3,634	644	355	216	62,561	102.5	283,832	237,535	157.9
12	2,321	2,974	508	275	171	50,466	102.0	309,005	439,416	152.9
2019 (H31) 1	1,966	2,773	320	161	107	30,057	102.2	289,682	226,406	140.4
2	2,630	3,729	475	169	262	40,133	102.1	268,675		
前月比 %	33.8	34.5	48.4	5.0	144.9	33.5	-0.1	-7.3	-48.5	-8.2
前年同月比%	1.1	-1.5	84.8	17.4	219.5	59.9	0.1	14.5	-0.4	-3.1
資料出所	自販協連合会青森県支部		県建築住宅課			県統計分析課	総務省	県統計分析課		

※毎月勤労統計調査は事業所規模5人以上を対象

## 青森県の主要経済指標・各種統計 2

年次及び月	百貨店・スーパー 販売額 (百万円)	コンビニエンスストア 販売額 (百万円)	家電大型 専門店 販売額 (百万円)	ドラッグ ストア 販売額 (百万円)	ホーム センター 販売額 (百万円)	りんご			漁業 (八戸港水揚げ)	
						出荷量 (トン)	市場価格 (円/kg)	産地価格 (円/kg)	数量 (トン)	金額 (百万円)
2014 (H26)	177,668	-	28,532	40,073	54,090	296,117	319	180	120,530	22,969
2015 (H27)	172,465	-	26,335	43,523	54,193	298,255	329	209	113,359	19,699
2016 (H28)	168,443	94,851	26,540	47,970	51,990	294,359	306	222	99,312	23,436
2017 (H29)	169,344	99,007	26,738	51,086	51,254	262,705	335	214	99,972	19,990
2018 (H30)	168,037	100,902	26,675	54,561	50,377				108,192	18,120
2017 (H29) 12	18,109	8,585	2,815	4,673	4,966	26,132	323	203	9,351	1,611
2018 (H30) 1	14,106	7,868	2,651	4,484	3,401	32,739	303	209	728	346
2	12,450	7,079	1,781	4,052	2,845	31,089	310	236	2,095	1,136
3	14,309	8,098	2,629	4,187	3,774	31,541	326	242	807	290
4	13,238	8,122	1,872	4,561	4,934	28,206	344	305	413	174
5	13,467	8,370	1,842	4,468	4,802	20,398	404	-	860	276
6	13,461	8,411	1,972	4,601	4,168	12,095	446	-	1,072	538
7	14,164	9,256	2,676	4,804	4,472	8,411	515	-	17,619	2,142
8	15,079	9,448	2,170	4,883	4,559	1,991	546	-	6,250	1,311
9	13,097	8,743	2,154	4,588	3,863	20,512	309	216	16,799	2,899
10	13,308	8,420	1,982	4,606	4,151	24,718	297	253	23,592	2,961
11	13,418	8,167	2,044	4,450	4,266	22,322	282	219	24,003	3,711
12	17,941	8,920	2,902	4,925	5,142	27,152	328	174	13,954	2,336
2019 (H31) 1	13,855	8,181	2,539	4,753	3,265	34,827	298	169	787	334
2	P 12,409	P 7,404	P 1,783	P 4,366	P 2,847	35,404	278	163	1,294	700
前月比 %	-	-9.5	-29.8	-8.1	-12.8	1.7	-6.7	-3.6	64.4	109.4
前年同月比 %	-0.3	4.6	0.1	7.7	0.1	13.9	-10.3	-30.9	-38.2	-38.3
資料出所						県りんご果樹課			八戸市水産事務所	

※百貨店・スーパー販売額の前年同月比は既存店ベース増減率

※りんご年次欄はりんご年度の計数

年次及び月	有効求人 倍率(倍)	新規求人 倍率(倍)	雇用保険		貿易 (青森港)		貿易 (八戸港)		青森県景気 ウォッチャー 調査 (現状判断DI)	あおぎん BSI
			受給人員 (人)	受給金額 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)		
2014 (H26)	0.81	1.16	-	11,408	7,733	34,824	132,609	177,830	-	-
2015 (H27)	0.95	1.34	-	10,654	5,913	25,041	129,394	192,285	-	-
2016 (H28)	1.13	1.57	-	9,586	4,577	14,834	125,646	147,564	-	-
2017 (H29)	1.27	1.75	-	9,049	5,701	22,860	123,846	160,929	-	-
2018 (H30)			-		6,945	31,401	115,235	220,012	-	-
2017 (H29) 12	1.31	1.90	5,488	613	718	3,034	7,499	14,172	-	-
2018 (H30) 1	1.31	1.79	8,752	1,346	410	3,046	9,399	12,930	51.3	-11.2
2	1.31	1.82	6,381	808	512	2,858	10,487	12,532	-	
3	1.31	1.80	5,690	711	929	3,120	12,511	10,510	-	-6.2
4	1.30	1.77	5,569	669	417	2,310	7,372	16,235	48.2	
5	1.29	1.77	6,406	824	404	1,725	7,843	56,840	-	
6	1.29	1.79	5,928	678	759	3,767	12,709	13,247	-	
7	1.29	1.78	6,302	720	533	2,023	9,001	18,454	47.8	-16.3
8	1.30	1.82	6,479	791	555	1,307	6,144	12,812	-	
9	1.29	1.81	5,393	589	667	4,435	11,353	17,657	-	0.0
10	1.30	1.74	5,417	639	860	2,456	11,830	14,730	44.3	
11	1.32	1.88	5,141	595	175	2,966	12,424	18,916	-	
12	1.31	1.79	5,347	596	726	1,432	4,163	14,943	-	
2019 (H31) 1	1.35	1.99	8,193	1,268	322	3,629	10,106	15,430	46.7	-
2	1.29	1.78	6,143	794	348	3,077	9,135	10,632	-	-
前月比 %	-0.06ポイント	0.20ポイント	-25.0	-37.4	8.1	-15.2	-9.6	-31.1	2.4 <sup>+</sup> イント	16.3 <sup>+</sup> イント
前年同月比 %	-0.02ポイント	-0.04ポイント	-3.7	-1.8	-32.0	8.1	-12.9	-15.5	-	-
資料出所	青森労働局				函館税関、青森支署・八戸支署				県統計分析課	青森銀行

※求人倍率の年次の欄は原数値の年度計数

※雇用保険の年次の値は年度計数

青森県の主要経済指標・各種統計 3

☆県内主要都市・地区各種指標

年次及び月	観光施設 入込客数 (人)	宿泊者数 (人)	青森空港乗 降客数 (定期便) (人)	パスポート 発行件数 (件)	三市の宿泊者数 (人)			地区 BSI		
					青森市 (12施設)	弘前市 (17施設)	八戸市 (18施設)	青森	津軽	県南
2014 (H26)	9,881,300	1,498,169	903,389	13,559	374,463	487,827	505,045	-	-	-
2015 (H27)	9,987,354	1,497,981	981,175	13,298	373,938	518,399	462,499	-	-	-
2016 (H28)	9,885,612	1,512,154	1,061,995	14,904	378,634	535,657	459,793	-	-	-
2017 (H29)	9,980,972	2,359,381	1,137,982	15,396	377,619	553,031	486,259	-	-	-
2018 (H30)	9,935,874	2,384,592	1,172,886	16,565	381,907	534,367	491,088	-	-	-
2017 (H29) 12	575,450	160,507	81,960	1,220	24,883	37,141	41,165	-7.1	-19.7	-8.6
2018 (H30) 1	493,375	152,548	79,516	1,553	27,784	34,272	32,662			
2	452,756	155,914	77,524	1,221	25,949	34,030	33,914			
3	531,632	159,757	89,866	1,537	25,747	36,180	35,420	-4.7	-22.6	5.0
4	940,196	181,362	94,237	1,244	29,616	48,459	37,000			
5	1,037,231	203,820	99,214	1,317	32,557	44,991	40,895			
6	917,450	209,003	99,593	1,179	32,881	45,722	42,694	-18.0	-29.6	-2.5
7	934,215	219,043	101,852	1,488	33,330	45,951	42,928			
8	1,547,248	274,365	125,183	1,842	45,360	62,396	51,349			
9	907,260	226,657	104,980	1,168	34,973	47,950	43,731	3.5	-1.5	-2.5
10	887,527	251,418	110,976	1,482	42,597	55,266	47,083			
11	643,703	187,733	104,042	1,265	26,723	41,188	43,392			
12	643,281	162,972	85,903	1,269	24,390	37,673	40,020	21.5ホ° イト	28.1ホ° イト	0.0ホ° イト
2019 (H31) 1	479,267	155,396	86,981	1,610	24,429	32,161	36,705			
2	457,901	158,426	81,277	1,411	24,259	34,254	35,455			
前月(期)比%	-4.5	1.9	-6.6	-12.4	-0.7	6.5	-3.4	21.5ホ° イト	28.1ホ° イト	0.0ホ° イト
前年同月(期)比%	1.1	1.6	4.8	15.6	-6.5	0.7	4.5	-	-	-
資料出所	県観光企画課		空港管理事務所	県民生活文化課	県観光企画課			青森銀行		

※観光施設入込客数は県内35施設合計

※宿泊者数は県内79施設合計 (2016年以前は青森市、弘前市、八戸市、むつ市53施設)

年次及び月	推計人口 (人)			新車(登録車)販売台数(台) (大型特殊車除く)			新設住宅着工戸数 (戸)		
	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市
2014 (H26)	290,646	178,279	232,860	7,669	3,704	6,564	1,445	761	1,197
2015 (H27)	287,648	177,411	231,257	7,424	3,598	6,101	1,378	871	1,395
2016 (H28)	284,754	175,900	229,527	7,829	3,578	6,411	1,761	1,084	1,463
2017 (H29)	282,032	174,287	227,778	8,324	4,119	7,049	1,718	1,075	1,519
2018 (H30)	279,133	172,447	225,463	8,288	3,783	6,695	1,479	1,069	1,441
2017 (H29) 12	281,822	174,171	227,639	548	276	410	132	100	137
2018 (H30) 1	281,694	174,106	227,459	468	220	449	61	56	79
2	281,405	174,001	227,321	566	324	497	33	36	78
3	281,130	173,821	227,090	1,168	575	760	157	57	83
4	279,278	172,500	225,836	685	294	636	145	98	108
5	280,088	173,016	225,821	534	258	474	146	90	84
6	279,902	172,910	225,816	731	332	573	159	96	181
7	279,646	172,807	225,724	894	346	650	134	139	178
8	279,461	172,694	225,647	551	239	446	104	121	96
9	279,387	172,550	225,597	715	368	599	163	105	181
10	279,133	172,447	225,463	626	302	564	140	78	116
11	279,033	172,339	225,407	682	265	613	127	126	114
12	278,897	172,208	225,249	668	260	434	110	67	143
2019 (H31) 1	278,650	172,087	225,140	416	269	418	86	51	85
2	278,299	171,902	224,983	628	372	561	130	40	90
3	277,962	171,643	224,771						
前月比%	-0.1	-0.2	-0.1	51.0	38.3	34.2	51.2	-21.6	5.9
前年同月比%	-1.1	-1.3	-1.0	11.0	14.8	12.9	293.9	11.1	15.4
資料出所	県統計分析課			自販協連合会青森県支部			県建築住宅課		

※人口の年は10月1日、月は各1日現在の数値。